

ほっこり坂越 レトロさんぽ



穏やかな海と歴史のまち、坂越。
そのよさは歩いてみないと
わかりません。
ゆっくり、ゆったり歩けば
静かなたたずまいの中に
あたたかい人のぬくもりも
感じられることでしょう。

JR坂越駅から坂越湾まで
徒歩約20分、海の駅までは
さらに20分です

創業以来40年、
赤穂の地酒を
造りつづけています。

奥藤酒造
0791-48-8005

奥藤酒造 紀伊土産館

奥藤酒造 乙女 赤穂蔵

坂越のまちなみ
石がたみの大通は、車通りも少なく、
白壁と焼板の町家が並び、落ちついた
まちなみ 路地をのぞいたり、水路の
せせらぎを聞きながら、ゆっくり歩いてね。

(一社) 赤穂観光協会
兵庫県赤穂市加里屋328 TEL 0791-42-2602
<http://www.ako-kankou.jp>

ほっこり坂越レトロさんぽ



①千種川高瀬舟発着場跡



②木戸門跡



③坂越まち並み館



④奥藤酒造



⑤旧坂越浦会所

①千種川高瀬舟発着場跡

江戸時代、塩田から運ばれた塩がここで大八車に積みかえられ坂越港に運ばれた。

②木戸門跡

廻船業で栄えていた頃、町を守るため朝開き、夕べには閉じる門番がいた。

③坂越まち並み館

大正末期に奥藤銀行坂越支店として開設され、その後もいろいろな銀行として使用された。当時の名残の大金庫が残っている。

④奥藤酒造

慶長6年創業の、兵庫県で二番目に古い酒蔵。「忠臣蔵」や「乙女」といった銘酒が造られている。一角に郷土史料館があり、酒造りの道具や商品を積み込んで上方まで運んだ船の復元模型などを展示。

⑤旧坂越浦会所

赤穂藩の支所でありながら茶屋的役割だった。藩主専用の部屋、観海楼からは湾にうかぶ生島が展望できる。

⑥大避神社

644年、蘇我入鹿から逃れた秦河勝が祭神とされている。ここには“12”という数字が階段にも井戸にも初穂料にもからんでいる。ミステリーファンならずとも興味をそそるパワースポットだ。境内に実る“ひよんの実”の由来もミステリアス。

⑦妙見寺観音堂

お堂の屋根は4枚の三角形が組み合わされていて、ピラミッドと同方向を向いているとか、原始基督教の造りだとか諸説が飛び交うパワースポット。また観音堂の蛙股に飾られた十二支の彫刻でしに生島を眺めることができる。

⑧坂越湾

毎年10月第2日曜に瀬戸内三大船祭りである“坂越の船まつり”が開催される。

⑨生島

秦河勝の墓だといわれており、国の天然記念物でもある原始林が今もうっそうと茂っている。この島のおかげで、古来より坂越は瀬戸内航路の中継地としてだけでなく、風避け港としても栄えていた。

⑩海の駅

坂越の牡蠣や魚介類・加工品の直売所。“くいどうらく”では焼きガキの食べ放題もある。一年を通して瀬戸内の新鮮な魚介類が楽しめる。



⑥大避神社



⑦妙見寺観音堂



⑧坂越湾



⑨生島



⑩海の駅